

集落支援員だより

第19号

発行者 東和地域集落支援員
連絡先 66-2490
発行日 令和3年6月24日(木)

談話

棚田を守り、多様な生き物と交流をめざして

菅野正寿さん

(布沢の環境を守る会代表)

天女が舞い降りたという伝説のある布沢集落(20戸)は、沢沿いに2キロに渡り棚田が広がり、夏にはハイケポタルが乱舞し、秋には赤とんぼと稲のはせがけの風景を眺めることができます。4年前には多面的機能支払事業を活用して棚田の真ん中に200坪の田んぼビオトープを整備しました。里山自然保護指導員の方を講師に毎年7月と9月に生き物観察会を実施しています。



田んぼビオトープと生き物観察会

「うわー！ドジョウがいる。タニシもいるよ！」子どもたちや学生の歓声があがります。絶滅危惧種となったゲンゴロウもいます。ギンヤンマ、糸トンボ、アキアカネなど10種類以上のトンボも観察することができました。

指定棚田地域に認定

この棚田の豊かな生き物を守り、子どもたちや都市との交流を発展させて景観を良くしていくこの思いで、「東和の布沢棚田」を指定棚田地域とするよう二本松市が国に申請し、このほど認定されました。国民的財産である棚田の保全と棚田地域の多面的機能の維持を目的に令和元年に施行された棚田地域振興法に基づいています。



籾殻燻炭アート

集落の活動に子どもたちや女性も参加いただくとうと粘土ワークショップでコーヒーカップや皿と一緒に大きな顔の焼き物で「野良アートのオブジェもつくっています。

地域農業とコミュニティは高齢者も女性も会社員も共に支え合い、参加する仕組みをつくっていくことだと思っています。

これからも都市との交流を進めながら棚田の価値を発見して景観を守っていききたいと思っています。

取材 町の若い農業後継者

ゲスト 安部一成さん

安部家の13代目、安部一成さんは、高校卒業後約8年会社社勤めを



木幡 塩沢区 安部 一成さん

紹介

新しい集落支援員

人と人がつながる

元気な集落づくり

今年の4月から集落支援員となりました。少子高齢化が進む一方、豊かな自然と食、祭り、先人の知恵を活かした現在につながる暮らしがある東和地域。住み慣れた地域で、自分らしく、元気に暮らすヒントを一緒に探っていききたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。(針道地区担当)



集落支援員 引地 知子

していただきました。しかし、高校時代に学校の実習で携わっていたトマト栽培で、極めて質の高いトマトを食べたことがきっかけでミニトマトに興味を持ったこのことです。そこで学校で作っていたトマトに勝るようなトマトを作るのができるものかと研究を重ね、トマト栽培

農家として一本立ちしていく事にした
ということなのです。

今の栽培面積はビニールハウス6棟、
約1反6畝に夏はミニトマト、冬にはほ
うれん草を栽培しふくしま未来農業協
同組合(UA)に出荷しています。基本一
人で作業を進めてはいますが、最盛期に
は近所の方に応援をお願いし、地域貢献
もしています。

トマト栽培の今後としては、異常気象
も気になりますが、まずは規模拡大をし、
そして栽培品目を増やし、ハウス栽培の
品質、収量ともレベルアップを図って
いきたいと言っていました。

今年も、ミニトマトは、6月下旬から
出荷となりますが、お客様に美味しいと
喜ばれるトマトを届けられるように準
備しているようです。

隠れ文化財
後世に残したい原風景
石梨の大樹

戸沢四区の本多和弥さん戸沢大鷹宅
のワイン用ぶどう畑に、日本固有の石梨
の大樹が畑の真ん中に鎮座し、堂々たる
姿を誇っています。

石梨は、日本古来の梨で今我々が食べ
ている幸水や豊水は元々この種に改良

を加え、現在に至ったものと考えられま
す。

本多さん宅の梨の大樹は、幹回りが4
メートル、高さ約18メートル、枝振り
が14メートルで推定樹齢は400年
といわれています。



**本多さん宅
石梨の大樹**

昭和50年代頃には、方々に石梨の木
があり、いたずら半分に食していたもの
でした。昔も今もこれだけ大きな木は珍
しく、よく400年もの間、この地に残
っていたなあと思っております。

また、ぶどう畑の西側には安達太良山
の眺望も見られ、大樹とのロケーション
も抜群です。仕事の合間にも一度足を
運んでみてはいかがでしょうか。気持ち
が晴れるようですよ。

取材
脳と体の健康のために

戸沢一区いきいきサロン活動実施
戸沢一区(区長小林正典さん)では、2
年前に百歳体操を始められ、落合集会所
を会場に2年間休まずに継続されてい
ます。

当初は元区長の大内正勝さん、民生委
員の本田誠一さんらが取り纏めを行い、
市の高齢福祉課の計らいもあり、「人生
健康に勝るものなし」を目標に活動して
おります。



**戸沢一区
いきいきサロン**

今、百歳体操には10名ほどの方が参
加されており、その後の経過としては、
各自、以前より立ち振る舞いが力強く見
受けられ、継続は形となり成果となる事

が実証されているように見受けられま
した。

百歳体操で足腰を鍛え、皆さんが集ま
ったおり、我先に家路を急ぐよりも、体
操で鍛えた体にお茶等で喉を潤し、コミ
ュニケーションを図る事も脳活の一助
となるのではないのでしょうか。東和で
初の試みとして「頭脳と体操の連用」に
よって、百歳体操終了後にいきいきサロ
ンでリラクゼーションという形をとっ
ていただくこととなりました。

時間の有効活用と運動とで健康増進
間違いのないと思います。7月3日より、
いきいきサロンが始まりますので近所
の方をお誘い合わせのうえ、ご参加いた
だけますよう希望いたしております。

一編集後記一

「集落支援員だより」は、東和地域の
情報や地域活動等をお届けしています。
どんな小さな活動でも取材に行きます
ので、載せたい情報等がありましたら、
集落支援員までご連絡ください。

感染症予防には手洗いうがいの徹底は
もちろん大切ですが、自己免疫力を保つ
ために適度な運動、バランスのとれた食
事、十分な睡眠も大切です。

東和支所地域振興課(集落支援員)
問い合わせ先: 66-2490(直通)